



おくたま

第202号

令和4年8月5日発行

町議会だより



原島 匠・書

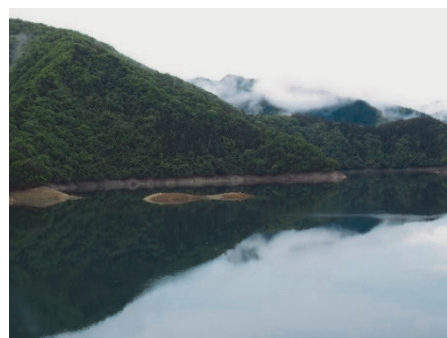
編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>



このポスター12枚は、「奥多摩町まちづくり委員会」が【秩父多摩甲斐国立公園】内のマナーアップを願って製作されたものです。ご賛同いただける方は、ぜひ活用してください。ポスターのダウンロード、詳細は町ホームページをご確認ください。



2年ぶりに奥多摩中学校体育大会が開催されました。



奥多摩湖に【ひょうたん島】が出現しました。(湖面からおおよそ高さ1.5mの島が出現すると貯水量は約80%です。)

6月議会だより 目次

第2回定例町議会報告	2
一般質問 11人が町政を問う	3～9
奥多摩町議会特定事案検討委員会設立	9
議会日誌、編集後記他	10

第2回定例町議会

第2回定例会は、6月10日から6月16日までの、会期7日間にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり承認、可決、同意されました。

【専決処分】

○議案第33号
町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

○議案第34号
国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○議案第35号
令和3年度奥多摩町一般会計

補正予算(第6号)

【報告】

○報告第1号
令和3年度奥多摩町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

【条例】

○議案第36号
介護保険条例の一部を改正する条例

○議案第37号
国民健康保険病院事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

○議案第38号
おきたまコミュニティセンターの設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

【契約】

○議案第39号
南平熊沢線道路新設工事請負契約について

○議案第40号

水川国際釣場施設改修工事請負契約について

○議案第41号

ポンプ自動車購入契約について

【人事】

○議案第42号

固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求めることについて

山宮 敏夫氏(再任)
(小丹波471番地の3)

【補正予算】

○議案第43号

令和4年度奥多摩町一般会計補正予算(第1号)

議会だよりのご感想をお寄せください。また、議会に対するご意見ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。



6月20日、地域をまるごと楽しむ拠点として鳩の巣駅に開設された「沿線まるごとラボ」(右写真)と工房でパンやお菓子等の製造・販売をしている「障害者地域活動支援センターかもんみる」(左写真)を視察させていただきました。

一般質問

令和4年第2回定例会では、11名の議員が一般質問を行いました。

ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、8月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録(結果))町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

(1) 7番 澤本 幹男議員 (4ページ)

問1 小学校の生徒数、特に氷川小学校の全生徒数54名の現状

問2 OKUTAMA+との契約は違反ではないか

(2) 9番 石田 芳英議員 (4ページ)

問1 無電柱化の推進について

(3) 12番 原島 幸次議員 (5ページ)

問1 在宅医療・介護連携推進事業について

(4) 4番 小山 辰美議員 (5ページ)

問1 奥多摩スポーツフェスティバル開催について

問2 コロナウイルス感染予防対策と経済活性について

(5) 3番 相田 恵美子議員 (6ページ)

問1 ブックスタート事業について

問2 小学校の今後の在り方について

(6) 5番 木村 圭議員 (6ページ)

問1 新型コロナワクチン接種体制の再構築について

(7) 1番 伊藤 英人議員 (7ページ)

問1 冬の誘客について

問2 産後ケア事業の段階的な早期実施を

問3 パワハラ防止法について

(8) 8番 小峰 陽一議員 (7ページ)

問1 生徒・児童の眼の健康について

問2 「奥多摩むかし道」の残壁崩落について

(9) 2番 森田 紀子議員 (8ページ)

問1 日原街道渋滞緩和について

(10) 10番 宮野 亨議員 (8ページ)

問1 高齢化社会を迎える町の今後について

問2 超高齢化社会を迎えるにあたり、町内で使える町独自のポイント、又は地域通貨の制度(わさPoint)の導入を

問3 コロナ禍・物価高からの町民と事業者支援について

(11) 6番 大澤 由香里議員 (9ページ)

問1 加齢性難聴者への支援について

問2 河川の観光利用事業者について



新会 清水 澤 幹男 議員

問 1 氷川小学校全生徒数54名の現状

2 OKUTAMA+との契約は違反ではないか

答 1 両小学校を存続させるため年少人口を確保する
2 改善・指導して協議する

質問1今年、教育委員会との会議が開催され、そこで小学校の生徒数で特に氷川小学校全生徒数54名に強い衝撃を受けた。古里小学校の全生徒数は93名と倍に近い生徒数となっている。少子高齢化対策を町の最重要課題として推進しているが、町として氷川小学校全生徒数54名の現状をどう受け止めこれからどのような対策・対応していくのか伺う。質問2 昨年の12月議会でOKUTAMA+について質問したが、町から公表されている令和3年度分監査結果をみると「転貸借に関する覚書」を適用することだが、覚書には火気厳禁の項目がありBBQやサウナは火を使うとなると違反していないのか。透明性のある事務手続きを経ることなく、特定企業との契約内容を変更して目的外使用に当たり結果適切ではないと評価されている。この覚書は契約違反ではないか。町長

1 「小学校の在り方検討会」を設置する。小学校は地域の文化であり非常に重要な役割があると認識しており古里・氷川小学校を存続させることが町の最重要事項であり決して都合ありきで検討するものではない。教育委員会だけではなく全庁的に情報を共有し職員が一丸となり若者定住対策を推進するための各種事業を実施して町全体で奥多摩町の魅力を高めていく。定住対策・町営若者住宅等の整備や子ども・子育て支援推進事業を推進し小学校を維持していくため年少人口の確保に努める。
町長2 現在町では経営母体で賃貸借契約の相手方である(株)ジェリーフィッシュに対し指摘のあったキヤンプ場関連設備や火気厳禁の事項について確認を行い、運営体制等の改善について指導を行っている状況。覚書の内容と実態がそぐわない部分が見られるので引き続き協議する。



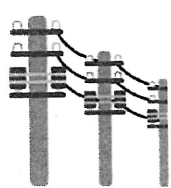
都民ファーストの会 石田 芳英 議員

問 無電柱化の推進について

答 町の地形上、現在も多くのハードルが存在しているものと考え

質問 東京都は、防災や景観の観点から、重点政策として無電柱化を推し進め、安心・安全なまちづくりを進め、実施する自治体への補助金等も手厚くなっている。「無電柱化チャレンジ支援事業制度」では、補助対象について①現道で無電柱化事業の整備実績がない区市町村②原則、歩道幅員が2.5m未満または歩道がない区間があるなど、地上機器を設置することが困難な路線③チャレンジの認定を受けた場合、事業完了まで事業費を補助するとある。財政支援以外でも技術支援として低コスト化に向けた取組等の情報提供、職員向けの研修会実施なども行っている。以上を踏まえ、町における無電柱化の推進について町長の所見を伺う。町長 このチャレンジ支援事業では、計画の策定から基礎調査、予備設計、詳細設計までは、東京都の10%補助であり、占用物件の移設補償及び本

体構築等の整備費用については、国が5%、都が45%の補助率で、基本的には区市町村の財政負担が発生しないスキームで、財政面からは非常に魅力的である。奥多摩駅前通りの町道については、チャレンジ支援事業の要件には当てはまるが、しかし、奥多摩駅前から交差点に向かう建物や通路等の状況を見る中で、極めて困難ではないかと考える。仮に無電柱化ができた場合に、街路灯などの照明設備をどうするのかという問題も発生する。町としては、景観の向上など無電柱化によるメリットがあることは理解しているが、町の地形上、実現化には、現在も多くのハードルが存在しているものと考え





新会 清原 幸次 議員
ゆきつぐ しま けいじ

問 在宅医療・介護連携推進事業について

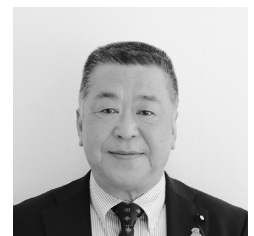
答 安心して暮らせる地域づくり、生きがいづくり、適切なサービスの確保に引き続き取り組む

質問 第5期長期総合計画の中で、健康で長生きできる施策を行っているが、現在65歳以上の高齢化率が51.2%となっており、今後高齢者が増加する中で、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供できるように連携体制の構築を推進する必要がある。

① 奥多摩町の在宅医療・介護連携事業の現状について② 国が示した市町村の取り組み事業をどのように実施しているか③ 町と医師会及び介護事業者との連携の現状と今後について④ 在宅医療、介護連携に関して同一の二次医療圏内にある市町村や隣接する市町村等の広域連携について。

町長 ① 令和3年3月奥多摩町地域高齢者支援計画を改訂、入院医療か

ら在宅療養への円滑な移行や安定的な在宅療養の継続のため、専門の相談窓口を設置し、地域包括支援センターを中心とした支援体制の充実を図っている。② 町の介護支援専門員連絡会や介護事業者連絡会を通じて、地域資源を把握すると共に、課題の抽出と対応策について協議する一方、町のケアセンター会議において重要施策等を審議している。③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施、また、町医師会及び介護事業者との連携をさらに図っていく。④ 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう町としては安心して暮らせる地域づくり、生きがいづくり、適切な介護サービスの確保についても引き続き取り組んでいく。



山名 辰美 議員
なまき たくみ

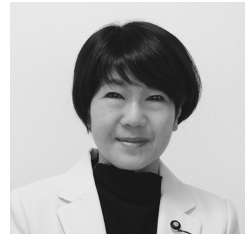
問 1 スポーツフェスティバルの開催について
2 感染防止対策と経済活性化について

答 1 感染症対策を講じて実施したい
2 感染状況を踏まえ検討する

質問 1 平成28年10月、町民体育祭が幕を閉じ、それに代わり平成30年6月、町民の健康増進と相互の交流を図ることを目的に「第1回奥多摩スポーツフェスティバル」が開催された。しかし、2年後は、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大が始まり中止となった。今年の秋には、「第2回奥多摩スポーツフェスティバル」の開催が予定されている。町を元気にするために、ウイズコロナにおける開催について、町はどのように取り組む考えか伺う。質問 2 コロナウイルス感染が始まり、2年半が経過した。国や東京都の感染対策、経済対策も低調きみだ。今後は「オミクロン株・BA4・BA5」が感染拡大すると思われる。この夏の観光シーズンまでに感染予防及び経済活性化対策ができるか伺う。

教育長 1 教育委員会の方針としては、国や東京都のガイドラインに沿

った形での開催を考えており、町独自の判断による事業の中止は考えておらず、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、万全の態勢で実施したいと考えている。町長 2 東京都の方針を受け基本的な感染防止対策の徹底、周知を行う。4回目のワクチン接種に向けて、町医師会をはじめ関係機関の協力のもと準備を進めていく。感染予防対策については、「3密の回避」「換気」「マスクの着用」「手洗い、消毒」等基本的な感染防止対策の徹底を町民及び観光客の皆様にも周知、協力をお願いする。経済活性化対策では、現時点で夏の観光シーズンに向けた町独自の経済対策の予定はないが、今後の国や東京都の各種支援策などの動向にも注視しつつ、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、適切な時期に経済対策が講じられるよう検討する。



ガジュマルの会
あいだえみこ
相田恵美子議員

問 ブックスタート事業について

答 事業の重要性を再認識し充実していく

質問ブックスタートとは、0歳児健診の際に絵本を開く体験と絵本をセツトにして贈る自治体の事業である。奥多摩町第2期子ども・子育て支援事業計画の第4章にブックスタート事業が明記されている。所管は社会教育係であり、活動としては図書館に幼児向けコーナーを設けているとの事だが、本来のブックスタート事業に合致するものとは言えない。子ども家庭支援センターきこりんの職員による「絵本といっしょ」は住民からも好評であり、また図書館のライブラリー通信からは図書館活動の意欲が感じられ、ブックスタート事業としての実質化を図る事は可能である。町で育つ全ての子供達に本の素敵な出会いをしてほしい。今後の町のブックスタート事業の展開は。



町長ブックスタート事業は、奥多摩町第2期子ども・子育て支援事業計画の主要事業の一つである。今年度の国・都の感染対策を受け、また町の対応も踏まえ、保健センターで実施する3・4か月健康診査の際に、民生・児童委員と乳児と保護者の顔合わせの場を設ける事とし、その際に絵本のプレゼントを行う事とした。子ども家庭支援センターきこりんにおいては、毎月実施している「絵本といっしょ」を通じて、親子で絵本に触れあつて頂く機会を設けている。町内の図書館において絵本に触れる機会を確保するため、引き続き魅力的な絵本の蔵書の充実を図る。改めて「ブックスタート事業」の重要性を再認識し、現在の取り組みを充実させると共に、福祉保健課と教育課が連携し事業を推進していく。



新会
きむら
木村 けん
主議員

問 新型コロナワクチン接種体制の再構築について

答 今後万一、高い感染力・強毒性に変異した場合、接種体制の再構築を検討する

質問ワクチン接種従事者の体制は、ほとんどの方が町内の医療関係者と町役場職員での対応で、一般の町民の接種は土・日曜日に実施された。そのため、他市町村と比較し接種が遅くなった。また、接種従事者は休日出勤のため、振替休暇を取ることで、通常業務に負担が多くなり、支障を来たさなかつたか危惧される。コロナの戦いは長期になり、今後のワクチン接種は東京都・自衛隊などの支援を活用し、平日の接種日を設けてスピーディーな接種が出来る体制に再構築する必要があると思うが、町長の考えは。

町長このワクチン接種事業は、国から全額の補助を受けられることから、他自治体では、従事者を民間の派遣会社から手配を受けている例もあるが、同一人物の派遣ではなく、接種日ごとに綿密な打ち合わせを行う必要があり、また、希望人数の確保も難しい状況にある。職員の振替休暇の取得による通常業務への支障を指摘されたが、このワクチン接種を万全の体制で実施するためには、通常の医療体制、また事務では通常業務との両立の観点から、平日ではなく休日での集団接種の対応であること。当町は、一昨年、令和2年4月、国の「緊急事態宣言発令」以来、「新型コロナウイルスワクチン感染症対策本部」を設置し、感染対策のほか、集団接種対応を実施しており、災害対応が継続している状況である。今後万一、新型コロナウイルスがさらに高い感染力と強毒性に変異した場合や、新たに、病原性の強い、新型インフルエンザが流行した場合においては、現在の接種体制を再構築し、民間からの従事者の確保を、町民の方のボランティアの募集も含め、平日の接種、複数会場での接種を検討する。



どんぐり
伊藤 英人 議員

問 パワハラ防止法について

答 事業者連絡会などを通じて、取組を把握し、連携を推進する

質問 2022年4月、労働施策総合推進法により、大企業と中小企業でのパワーハラスメントの予防・解決が義務化された。
介護職は、一般的に離職率が高く人員不足といわれ、ストレス負荷の大きい職種でもある。町内福祉事業者においてもやはり慢性的な人員不足の状況にあり、パワーハラスメントの防止等、良好な職場環境を維持することは、将来の当町の産業構造維持に必須といえる。
パワハラ防止について、町内老人福祉施設・介護老人福祉施設の各事業所の取組を町は把握しているか。
町長 介護保険法上、地域密着型サービスは町が事業者の指定・指導を行う。介護老人福祉施設は都道府県が事業者指定・指導を行うことから、町内所在の4施設での取組を町として具体的には把握していないが、いずれの施設も社会福祉法人とし

てパワハラ防止への取組が行われ、また、東京都においては東京都社会福祉協議会が福祉保健局の委託事業として実施する「介護現場におけるハラスメント対策事業」での利用者や家族等からのハラスメントに関する相談や説明会などを通じて、各事業者において適正に取組まれているものと考ええる。
今後、町内全ての介護サービス事業者を対象とする事業者連絡会などを通じて、各事業者のパワハラ防止の取組状況を町として把握し、事業者間で情報共有することで、町内の介護事業者における労働環境の改善を図れるよう、事業者との連携を推進していく。



問 1 生徒・児童の健康について

2 「奥多摩むかし道」の残壁崩落について

答 1 子供の健康面の配慮に努める
2 引き続き安全対策を講じる



清心会
小峰 陽一 議員

質問1 文部科学省は学校における幼児、児童、生徒の発育及び健康状態を把握するため学校保健統計調査を昭和23年度より毎年実施している。令和2年度の調査項目は①眼の疾病・異常②耳疾患③鼻・副鼻腔疾患④むし歯⑤せき柱・胸郭・四肢状態⑥アトピー性皮膚炎⑦ぜん息⑧心電図異常⑨蛋白検出⑩裸眼視力1.0未満の者。特に⑩の者が25%から65%と報告されている。⑩の項目について問う。①裸眼視力1.0未満の者の数は②現在行っている学校家庭での対処法は③今後の対応は。
質問2 「奥多摩むかし道」の境集落西側で残壁崩落が起こり車両通行止めとなっているが人の通行は可能となっている。雨季となりさらに崩落が予想されるため全面交通止めにする。地域住民や観光客が安全で安心して利用できるよう、道路維持管理に万全を期してほしい。

教育長1 ①令和4年5月現在状況は古里小43.0%、氷川小61.1%、奥多摩中54.4%、小中全体の割合は51.0%。
②本年3月の文部科学省通知に「健康面の配慮について」の記載があり「子供たちの健康影響に配慮」、「子供たち自ら健康について自覚を持つ」とある。具体的には「ア」端末を使用する時は良い姿勢を保ち、机と椅子の高さを正しく合わせ眼と端末の距離30cm以上離す。「イ」継続して画面をみないよう、30分に一回20秒以上画面から眼を離し遠くを見、目を休める。「ウ」端末を見続けたい学習方法をとる。「エ」画面への映り込みを防止する。「オ」部屋の明るさと画面の明るさを調整する。「カ」就寝1時間前から機器の利用を控える。「キ」文部科学省の方針にそって、子供の健康面の配慮に努める。
町長2 再崩落の可能性があるため、全面交通止めとし引き続き安全対策を講じる。



幸福実現党宇宙会
も森 福実 宇宙 現党 宇宙 会
も森 福実 宇宙 会
も森 福実 宇宙 会

問 日原街道渋滞緩和について

答 ①マイカー規制はなかなか難しい

② 継続して整備要望を行う

質問 日原地区は、観光立町を標榜する奥多摩町にとって貴重な観光資源である。しかし、日原街道は抜け道がなく、更に道路が狭いため、毎年シーズンになると渋滞する。日原保勝会で交通整理の人員を配置し、多額の費用をかけて渋滞緩和に努めているが、緊急車両の通行や地元の方の通行に支障が出ることは否めない。例えば①一番混雑するGWやお盆休みなど、上高地で実施しているようなマイカー規制が実施出来ないか。その際には登計原山村広場運動公園駐車場の公園利用者以外を有料化し、そこからシャトルバスを運行する。②都道204号線日原街道を熟知している自治会協力の下、東京都へ渋滞を引き起こすボトルネック箇所の道路拡張を要請し、すれ違い可能にして緩和を図る等が考えられるが、渋滞緩和に関して町の所見を伺う。

町長 ①提案の登計原山村広場運動

公園駐車場は、夏の観光シーズンに、グラウンド等の利用者が急増するので、確保出来る駐車区画はほとんどない状況と想定される。また、西東京バスが路線バスを運行しているが、現在でもハイシーズンには他の事業所から応援の車両を持ち込んで増便対応している状況であり、仮にマイカー規制を行った場合、更に多くの乗客を乗車させることが出来るのか疑問である。したがってマイカー規制については、課題等が複数あり、現実的にはなかなか難しいものと認識している。②毎年、西多摩建設事務所に対し、日原街道のボトルネック解消のための拡幅整備や安全確保のための斜面対策等、道路機能の向上や安全対策について行っているが、継続して整備要望を行う。



公明党
みやの 宮野 明 野
みやの 宮野 明 野

問 1 高齢化社会を迎える町の今後について
2 町内で使える町独自のポイント、又は地域通貨の制度の導入を
3 コロナ禍・物価高からの町民と事業者支援について

答 1 再編・拡充を図る。
2 新事業創設は難しいが引き続き支援を継続していく。
3 原油・物価高騰対策を検討。

質問1 元気な高齢者同士が集え住める集合住宅、高齢者向けシェアハウスの建設を望む。質問2 町内で使える街独自のポイント制度(わきポイント)

質問3 コロナ禍に伴うこれまでの支援状況と成果は。地方創生臨時交付金の使い道について町長1令和5

年に策定する「第9期介護保険事業計画」において国の求める「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進」を踏まえ、保健事業並びに介護予防事業の再編・拡充を図る。町長2 新たな事業を創設することは難しい状況である。議員提言の「最後まで元気に」を実現できるよう、国の方針に沿い各種事業の見直し、拡充を図ること、自分らしい暮らしを継続できるように、引き続き支援していく。町長3 個人・世帯向けは特別定額給付事業を実施(令和2年)。町議会からの要望で町独自に一人2万円加算。

地域応援事業は全町民対象で一定期間使用できる商品券を一人一冊1万5千円分交付。子育て世帯向けは特例給付を除く世帯に対し児童一人につき1万円の臨時特別給付金事業を実施(令和2年)。令和3年度に児童一人につき、10万円の給付。ひとり親世帯以外に対しては5万円(17世帯43名)新たに住民税非課税世帯等に対し一世帯あたり10万円を給付。令和4年においては子育て世帯・住民税非課税世帯分の補正予算を提出し先日本会議で決定。事業者向けは一事業者あたり10万円の給付(令和2年)。令和3年度個人事業主は一律20万円、法人は基準により30万円から60万円の給付。「プレミアム付商品券発行事業」は低調に終わった経緯がある。国や都の動向に注視しつつ、町内の実情にあった原油・物価高騰対策を検討。



日本共産党
おおさわゆかり
大澤由香里議員

問 加齢性難聴者への支援について

答 慎重に検討を進める

質問 2019年の第3回定例会において加齢性難聴者への補聴器助成を求めて質問したが、あれから2年半以上経ち、コロナ禍の影響もあり、ますます難聴に関連する声が増えていく。難聴を改善しようと病院へ行ったら補聴器が必要だと言われ、その補聴器の値段のあまりの高額さに驚き、購入を諦めたという方が多い。「補助をしてくれる自治体がある」と聞くが町はやっていないのか」といった相談が増えている。補聴器の普及で、難聴になっても心身ともに健康やかに過ごすことが出来、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながる。高齢化が進んでいる奥多摩町として増えていると思われる加齢性難聴者の困難や苦しみに寄り添い、補聴器購入助成を導入すべきではないか。また、加齢性難聴者の苦しみをどう受け止め、高齢者の聴こえに対する公的支援に

ついて積極的な対策を行なう考えがあるのか問う。

町長 令和5年度末に策定する第9期介護保険事業計画の前提として実施する介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において加齢性難聴の実態を把握するとともに、当町の次期「地域高齢者支援計画」を協議する介護保険運営協議会において住民の代表や専門家、関係団体の代表の方の意見を伺い、町として高齢者に対する補聴器購入助成制度を事業化する場合は、財源を確保の上、その継続性も十分担保した上で、慎重に検討を進める。



特定事案検討委員会が設立されました。

奥多摩町議会では議員全員の同意により、令和4年4月より「特定事案検討委員会」を設立しました。その目的としては、重要な特定案件について議会内での協議、検討するためです。この委員会の特徴としては、条例で規制されている委員会ではなく、全議員を委員とした任意の委員会というところです。町の重要案件に応じ、委員長が招集して不定期に会議を開く、議員の自主的な委員会活動です。初回会議では、下記事項について検討し、活動を開始することとしました。現在（令和4年）の議題として予定されている特定事案は以下のとおりです。

案件1 奥多摩町新庁舎建設について 委員長 小峰陽一 副委員長 石田芳英

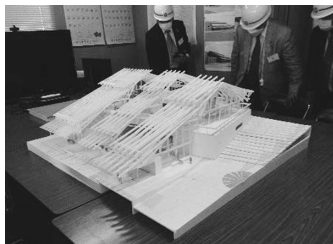
◎特定事案検討委員会報告

去る4月22日、丹波山村で建設中の庁舎を視察しました。

計画立案から着工に至るまでの経緯を懇切丁寧に説明して頂き、大変参考になりました。

その後、町に戻り、議員の意見や要望等を報告書にまとめ、参考資料として町長に提出しました。

完成予想図(右)
完成予想模型(左)



議 会 日 誌

5月

12日 奥多摩町議会特定事案検討委員会

西多摩地区議長会定例会議

17日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副会長委員長会議

20日 三多摩地区消防運営協議会通常総会

23日 西多摩郡町村監査委員連合会定期総会

26日 青梅商工会議所通常議員総会例月出納検査

27日 奥多摩町議会特定事案検討委員会報告

28日 奥多摩中学校体育大会

3日 議会運営委員会

4日 特定非営利活動法人タンポポの会定期総会

8日 一般社団法人奥多摩観光協会定時社員総会

10日～16日 町議会第2回定例会

7月

20日 沿線まるごとラボ視察

かもんみーる視察

23日 例月出納検査

24日 公益社団法人奥多摩町シルバー人材センター定時総会

27日 奥多摩町健康づくり推進協議会

2日 奥多摩町青少年対策地区委員会連絡協議会講演会

7日 議会だより編集委員会

12日 奥多摩町民生委員推薦会議会だより編集委員会

13日 奥多摩町青少年問題協議会

14・15日 西多摩郡町村議会議長会

19日 優良町村議会行政視察(中止)

22日 東京郡町村会・東京都町村議会議長会合同会議

26日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会

28日 三鷹立川間立体化複々線促進協議会・多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会

29日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会正副委員長会議

例月出納検査

西多摩地域広域行政圏協議会審議会

次回9月第3回定例会日程(予定)

議会運営委員会 8月30日(火)
本 会 議 9月 6日(火)、7日(水)
9日(金) 一般質問
13日(火)、14日(水)、16日(金)
陳情受付期間 8月19日(金)まで
※議会事務局へ持参(郵送不可)
会議の予定は変更になる場合があります。詳細は、お問い合わせください。
問い合わせ 議会事務局 ☎0428(83)2302(直通)

9月定例会では、8月19日までに受理したものを審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。提出する際は、次のことにご注意ください。
① 請願には必ず1人以上の紹介議員が必要ですが、(陳情は不要です)
② 請願・陳情者は、住所・氏名・電話番号を必ず記載し、署名(記名の場合には押印)してください。
③ 提出は議会事務局へご持参ください。(郵送不可)
④ 詳しいことは議会事務局にお問い合わせください。

編 集 後 記

令和2年初期に新型コロナウイルス感染者が確認されその後国内でも感染がひろがり始めました。町内では初めての感染が令和2年9月24日に確認され、令和2年は4名、令和3年が51名、令和4年が170名、で合計225名になっています。
(令和4年7月15日東京都公表数値)

東京都の感染者は、5月20日に209人と最低の数字となりましたが、その後変異株のBA.5が蔓延し始め、7月15日には1万9千59人と急増しており、第6波を上回る第7波が私たちに襲いかかっています。
早期の第4回目のワクチン接種が望まれるところですが、今一度原点に戻って、マスクの着用・手洗の励行・アルコール消毒・部屋の換気・人と人との十分な距離を取るなど、感染予防に心がけましょう。

小峰 陽一 記
伊藤 英人 森田 紀子
相田恵美子 木村 圭